

40th
Anniversary

「ひかりグループ」 40周年記念誌

「医療法人寿光会」設立50周年記念
医療や福祉を通じて社会貢献 40年の歩み
1976-2016



▲ 寿光会中央病院

40th
Anniversary

「ひかりグループ」

40周年記念誌

「医療法人寿光会」設立50周年記念
医療や福祉を通じて社会貢献 40年の歩み
1976-2016





HIKARI GROUP

「ひかりグループ」の由来

私たち「ひかりグループ」の法人名には「光」の文字が入っています。

「光」の文字には「希望」や「勢い」という意味があり、私たちが医療福祉を通じて社会貢献をしながら「グループにかかわるすべての人に将来にわたって夢や希望が持てるように」という思いを込めて、グループの名称を「ひかりグループ」としております。

目次

代表者挨拶	01
記念誌発刊に寄せて	02
医療に「和」を 長寿から「福寿」へ	03
グループのあゆみ	04
各医療法人、事業所の沿革	
医療法人寿光会の沿革	20
寿光会中央病院の沿革	22
豊田介護老人保健施設	27
三好介護老人保健施設	28
医療法人光陽会の沿革	29
磯子中央病院の沿革	31
横浜いずみ台病院の沿革	37
鎌倉ヒ口病院の沿革	40
横浜いずみ介護老人保健施設の沿革	42
横浜磯子介護老人保健施設の沿革	43
医療法人沖縄寿光会の沿革	44
医療法人関東病院（財団）の沿革	47
医療法人五光会の沿革	50
医療法人北光会の沿革	53
医療法人長野寿光会の沿革	57
社会貢献	
研鑽	63
グループ合同会	64
各部門合同会	67
地域とのかかわり	
地域の皆さんとの交流	73
地域への奉仕活動	84
グループの概要	
法人	91
病院	91
介護老人保健施設	92
有料老人ホーム	92
グループホーム	93
思い出のアルバム	94
編集後記	101

代表者挨拶

「ひかりグループ」40周年記念誌にむけて

完成



ひかりグループ

代表 篠崎 仁史

このたび「ひかりグループ」の出発点である医療法人寿光会の法人設立50周年、および「ひかりグループ」創立40周年を記念して「記念誌」を発行することとなりました。

当グループ基幹病院の前進である「郡司診療所」は愛知県西加茂郡三好町（現みよし市）で郡司寿先生が始められました。1966年に郡司診療所が法人化され、その法人名は郡司先生のお名前より「寿光会」と名付けられたと伺っております。法人化に伴い無床診療所から有床の病院へと変わり、地名より「三好中央病院」と名付けられました。

郡司先生がご高齢であったこともあり、三好中央病院開院10年後の1976年に当グループ創立者である篠崎文則が後継者となりました。篠崎文則は1973年に藤岡町（現豊田市内）で「藤岡診療所」を開所しておりましたが、寿光会の事業譲渡を機に複数医療機関として当グループがスタートすることとなりました。譲渡後しばらくの間は郡司先生もご勤務され、当時小学生であった私は郡司先生に可愛がっていただいた覚えがあります。郡司先生は趣味であったゴルフのプレー中に、グリーン上で「自分は心筋梗塞だ」と語りながら倒れられ、その後帰らぬ人となりました。最後まで名医であったように回想します。

開院当初は50床ほどで始めた三好中央病院は、その後増築や増床を繰り返し142床となりました。1990年代後半からは医療制度改革で「療養病棟」が大きく編成され、病床室の面積や廊下幅等の施設基準が厳格化されたことを機に、三好中央病院は現在の寿光会中央病院へ新築移転することとなりました。当時患者様やご家族が近隣の「三好町民病院」とお間違えになることが多々あり、移転を機に寿光会中央病院へと変更して現在に至ります。

当グループの草創期は以上のような流れでしたが、この流れと並行して時代背景的に医療機関の倒産が多くなり、全国の医療機関から経営交代の要請がありました。多いときは年間10件超の譲渡相談が当グループに入り、その都度吟味しながら徐々に仲間入りする法人が増えました。おかげさまで当グループに仲間入りしたすべての医療法人は経営再建を果たし、現在もそれぞれの地域で日々貢献しております。

草創期からの長期にわたり、いろいろな方々のおかげで現在の「ひかりグループ」があります。現在を支えているすべての皆様、ならびに過去を支えていただいた元職員や地域の皆様に感謝しながら、この記念誌に関わった多くの方々の思い出話に一花咲かすことができればこのうえない喜びです。

「ひかりグループ」40周年記念誌の発刊によせて



ひかりグループ

本部長 **松谷 多佳子**

昭和の頃、1つの会社が繁栄を謳歌できる期間は30年と言われていたそうです。時代が平成に変わってからは、時の流れはどんどん速くなり30年も繁栄できる会社は僅かとなりました。このような社会情勢の中、ひかりグループ40周年記念誌を発行できることを大変うれしく思います。

創業者である篠崎文則前会長が昭和48年に当時無医村であった藤岡村に「藤岡記念診療所」を開設したのが、医療介護ひかりグループのはじまりです。

やがてその手腕は全国の立て直しを必要とする医療機関から経営の支援要請を受けることとなり、「医療資源を最大限に活用し社会に貢献する」という信念から「断らない医療」と「ベッド満床」により、それぞれの医療機関が再生され現在に至っております。

今では北海道から沖縄までの9つの病院を拠点とし、介護老人保健施設、有料老人ホーム等、全国に76の事業所を構える医療介護グループへと拡大いたしました。

医療事業からスタートした当グループが、介護事業にも着手し発展して来た背景には幾つかの転機があり、社会の潮流から変化を読み順応してきたことが伺えます。

この「信念の継続」と「変化への順応」こそが当グループの歴史とも言えます。この度の記念誌の発刊はこれを支えていただいた多くの皆様の好意をあらためて認識する良い機会となりました。

これまでの50年の歴史に感謝し、現在、当グループにいる約2800名の職員とともに、これからも地域のため、社会のために貢献し、次の50年も存続し続ける医療介護『ひかりグループ』へと成長させて行きたいと思います。

医療に「和」を 長寿から「福寿」へ

私たち「ひかりグループ」は、これからも輝き続けながら
社会貢献を推進します。



▲ 三好中央病院（法人設立時は中央の長方形の建物から始まり、造築を重ねた）

年月日

内容

当時のできごと

1973年
(昭和48年11月)

グループ創設者 篠崎文則

愛知県の紹介により無医村であった愛知県西加茂郡藤岡村(現在の豊田市藤岡町)から診療所を無償貸与され「藤岡診療所」を開業。

開業にあたって「広報ふじおか」昭和48年11月30日183号に「藤岡村のみなさんへ」を寄稿。

- ・石油ショックによる物価急上昇
- ・トイレットペーパー、洗剤など買いため騒動

寒さが日毎に厳しさを増してまいりました。聖き及ぶところよりまず、藤岡はなぜか無医村になってしまふ村の力々が健康の面より大変不安な思いをしているところとていいます。このたび私

皆様がよく承知のように今の診療所は老朽化していますので、昭和五十一年には新しい診療所を村が設立することになり、これには県の方も協力してくれようとなっておりま。そこさしあたり現診療所内・外装共一新し、設備についてはレントゲン、

診療内容は内科、小児科、レントゲン科で、診療時間は午前九時から十二時まで、午後一時から四時まで、往診といいたしので御協力下さい。

私の任務は、これらの診療の他に公的執務としての予防接種②健康診断③保育園・学校医の他、これらに協力する方々も村当局も私の協同者も私をバックアップしてくださる約束ですから、あとは村民の皆様の協力があれば、診療所は維持され続けるであろうと推察されます。次に私のために①勉強する時間を②スポーツをする時間を③子供と遊ぶ時間を④思いをなげ与えて下さい。そして時には診療所へ雑談をしに来て下さい。

十二月三日(月)より診療を始めましたが、今年いっはいは元分なことが出来ないかも知れませんが、どうも御了承下さい。

藤岡診療所長
医師 篠崎 文則
昭和四十八年十一月



藤岡村のみなさんへ

テレビ(胃腸、肺病診断用)、断層レントゲン(肺結核、肺病用)、心電図、脈搏計、眼底カメラ(高血圧、動脈硬化用)、胃カメラ(胃癌診断用)、オトクラフ(最新式消毒用)、ネプライザー(加湿吸入器)などを揃え、レントゲン科に設けました。

校医の仕事があります。先般のアンケートは全項目をとおしました。そして皆様の要望はある程度理解しました。けれど、この村における私の任務は、考えても重く苦痛に思われます。しかし、ふじおか、健い、あつ

(昭和48年12月3日)

藤岡診療所で診療開始

診療科:内科、小児科、レントゲン科

診療時間:午前9時~12時 午後1時~4時

診療の他①予防接種②健康診断③保育園・学校医を担当する。



藤岡診療所全景



藤岡診療所職員



篠崎文則藤岡診療所長



学童検診の様子

藤岡村医療計画に提案 (2)

藤岡診療所長 篠崎文則

さて話を病院にもとずけて、特別病室へ入れて頂くことが出来た。自分に起ったのは初めてであったが、患者についてはいつも経験しているの

で、一晩たてば落着くであろうと別に不安も感じず、部屋を眺めまわした。

日本流に言って二十畳くらいの広さであるが、ベッド

の周りが広々としていて、豪華な広縁セットが置かれ、五人や十人の見物客が来ても

少しも窮屈ではない。便所、シャワー、化粧室がついて

いるのは当然である。ベッドは電動式で頭や足部分がスイ

ッチひとつで持ち上げ、また部屋の隅に置かれた大型テ

レのチャネル切り換えも、ベッドの中からリモコンで出

来る。

翌日の朝食は型通りであ

ったが、その時、屋敷のメニ

ーを一通り持った希望を聞き

て来た。たまたま感謝祭の日

であったので、七面鳥コース

があり、かつ、シャンペーン

も出る由、前後の深更に洞窟

へ自然復帰していたので、シャンペーンを注文したのは当然である。この王侯貴族の生活は一日天下で終ってその日の午後には退院したが、一日一八四ドル(五万五千円)の部屋代も、これならはさして高くない様な気がした。後で聞いた話であるが、その病棟へはロサンゼルスの名士がよく入院する由、ハリウッドのエリザベス・テイラーも、先年、恰度私の居た部屋に入っていたと言う。大増とは言え、世紀の大女優、あの一八四ドルには、その部屋にしみ込んで居たであろうリスの体臭をかく料金も入っていたのかも知れぬ。また、それをかいだお蔭で、心労細動がすくなおったのかも知れぬ。

藤岡村医療計画に提案 (3)

藤岡診療所長 篠崎文則

そもそも、医学の倫理とは何か。それは社会通念として経済の原理があらわれないことは医師法にも明示されて

いるところである。やはり、一般的には良きこと悪しき

ことを問わず、商売人は商売

人らしく、兼業農家は農家

らしく、サラリーマンはサラ

リーマンらしく、役人は役人

らしく、政治家は政治家らし

く、物事を分析、思案するこ

とは、そのこと自体まことに

当を得たことであろうが、医

家の倫理は完全にはそのいづ

れにも属さない範疇であろう

ことであるから、これは人間

性の倫理あるいは貧者、弱者

の倫理として解されねばなら

ない。

しかるに、世の中の常とし

てこれら医療のことと自分

の乏しい経験に照らして、わ

かりもしないくせに経済的法

則にあてはめてしまう人がい

るのも事実である。

だから、このことから少し

でも敏感の感覚がせれると、

ものの本質が失われてしまふ

し、あげくのはては「いいか

る。

新しい診療所は私の赴任時

の条件では一億円であった。

これは法定で耐用年数50年と

いことになっている。村の

人口、五〇〇〇人。一人当り

50年で万円。一人当り一年

に四〇〇円。現今、ラメ

ンばい街では四〇〇円して

いる。だから一年間に村民が

ラメン一ぱい、コーヒ二

杯を節約すれば、「新しい診

療所が建つ。病床数20。ど

こにもない、どこまわしな

い新しい診療所。つまない

人間の感情や、めんどくさ

さややる気のなさ、空しさ

を全て超越したメカニ

カルな診療所。一年にラメ

ン一ぱいの代金。

そして、そこで人々はただ

優しく、愛、希望や、夢を

享受すればいい。

いいところ、あふん千年の

私のいのち。

と云ふあなたは

(完)

(昭和51年7月31日) 経営交代により「医療法人寿光会」理事長に篠崎文則が就任

「三好中央病院」56床

1978年
(昭和53年)



三好中央病院職員旅行



三好中央病院のスタッフ

1983年頃
(昭和58年頃)

空飛ぶ救急車 自家用ヘリコプター運航



1989年
(平成元年1月31日)

経営交代により「いずみ台病院」64床がグループ病院となる。

(平成元年7月7日)

「藤岡診療所」を藤岡町飯野仲ノ下に新築移転し「藤岡記念診療所」19床を開始

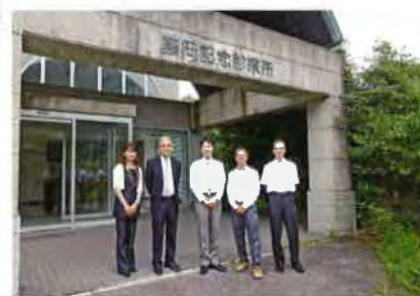
- ・昭和天皇崩御、昭和から平成に
- ・消費税施行、税率は3%に
- ・ソウルオリンピック開催



藤岡記念診療所



藤岡記念診療所開所式



藤岡記念診療所最終日



藤岡村飯野地区 (←は藤岡記念診療所)

1992年

(平成4年4月24日)

「医療法人寿光会」

「豊田介護老人保健施設」100床開始



施設全景 (初期)

- ・日本人宇宙飛行士毛利衛さんが宇宙へ
- ・アルベールビル冬季オリンピック開催
- ・バルセロナオリンピック開催

1994年

(平成6年6月1日)

経営交代により「与勝病院」140床がグループ病院となる。

- ・関西国際空港が開港
- ・リレハンメル冬季オリンピック開催

(平成6年10月18日)

「医療法人沖縄寿光会」設立 理事長に潮平優氏が就任

1996年

(平成8年2月27日)

経営交代により「医療法人社団芳洋会」理事長に篠崎文則が就任

「磯子中央病院」20床、「磯子脳神経外科病院」42床

- ・アトランタオリンピック開催
- ・海の日施行

(平成8年4月1日)

「医療法人沖縄寿光会」理事長交代により篠崎文則が理事長に就任



与勝病院全景

(平成8年5月22日)

「医療法人寿光会」

「三好介護老人保健施設」96床開始



三好老人保健施設全景

1997年
(平成9年2月1日)

「医療法人社団芳洋会」

「いずみ台病院」を法人に編入し「横浜いずみ台病院」に改称

・消費税率を5%に引き上げ

1999年
(平成11年1月31日)

経営交代により「医療法人関東病院(財団)」理事長に篠崎文則が就任
「関東病院」87床

・地域振興券(2万円)を政府
が子供老人に支給



関東病院全景

(平成11年6月17日)

「医療法人社団芳洋会」

「磯子中央病院」と「磯子脳神経外科病院」を渡り廊下で繋ぎ統合して「磯子中央・脳神経外科病院」に改称



磯子中央・脳神経外科病院全景航空写真

2000年
(平成12年6月1日)

「医療法人社団芳洋会」

「横浜いずみ介護老人保健施設」100床開始

・シドニーオリンピック開催
・三宅島噴火全島民避難
・BSデジタル放送開始



横浜いずみ介護老人保健施設全景

(平成12年9月1日)

「医療法人社団芳洋会」

「横浜磯子介護老人保健施設」100床開始



横浜磯子介護老人保健施設全景



2001年
(平成13年7月1日)

経営交代により「医療法人五光会」理事長に篠崎文則が就任

「渡邊胃腸科内科」を廃止し「福島寿光会病院」60床開始



福島寿光会病院全景

2002年
(平成14年3月31日)

「医療法人寿光会」

「三好中央病院」を、現在のみよし市三好町石畑5に移転新築
「寿光会中央病院」に改称し154床に増床



寿光会中央病院全景

(平成14年4月1日)

「医療法人社団芳洋会」

「横浜いずみ台病院」移転新築89床に増床



横浜いずみ台病院全景

- ・JR東日本「Suica」登場
- ・アメリカ同時多発テロ事件
- ・ユニバーサルスタジオ・ジャパン開園

- ・ソルトレイクシティー冬季オリンピック開催
- ・2002FIFAワールドカップ開催

(平成14年8月19日)

「医療法人社団芳洋会」

移転前の「横浜いずみ台病院」にて「横浜寿光会クリニック」19床開始

2003年

(平成15年10月1日)

経営交代により「医療法人輪生会」理事長に篠崎文則が就任

- ・地上デジタルテレビ放送開始
- ・小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ

2004年

(平成16年6月18日)

「医療法人五光会」

高齢者集合型療養住宅「あっとほーむ」19床開始

- ・新潟中越地震発生
- ・アテネオリンピック開催
- ・1万円、5千円、千円新紙幣発行

(平成16年8月1日)

「医療法人社団芳洋会」

「グループホームやすらぎ」19床開始

2006年

(平成18年3月24日)

「医療法人輪生会」

「グループホーム朝里」32床開始

- ・トリノ冬季オリンピック開催
- ・第1回ワールドベースボールクラシック開催



横浜いずみ台病院全景

(平成18年4月28日)

経営交代により「有限会社ハートネット」取締役篠崎仁史が就任

(平成18年8月1日)

「医療法人五光会」

高齢者アパート「あっとほーむ笹谷」28床開始



あっとほーむ笹谷全景

2007年

(平成19年5月15日)

「医療法人輪生会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ朝里」32床開始



あっとほーむ朝里全景

- ・第1回東京マラソン開催
- ・東京ミッドタウン開業

(平成19年7月1日)

「医療法人沖縄寿光会」

高齢者専用賃貸住宅「アットホーム南風」30床開始



アットホーム南風全景

(平成19年5月31日)

「医療法人関東病院(財団)」

高齢者アパート「アットホーム磯子」18床開始

(平成19年6月8日)

経営交代により「医療法人みやび会」理事長に篠崎文則が就任

(平成19年12月1日)

「医療法人寿光会」

「グループホーム上豊田」18床開始



グループホーム上豊田全景

2008年

(平成20年3月1日)

「医療法人寿光会」

「グループホーム藤岡」18床開始



グループホーム藤岡全景

(平成20年3月1日)

「医療法人五光会」

高齢者アパート「あっとほーむ笹谷」42床に増床

(平成20年6月27・28日)

第1回寿光会グループ合同会開催（寿光会中央病院）



第1回合同会参加者の様子

(平成20年10月1日)

「医療法人輪生会」と「医療法人みやび会」が法人合併により「医療法人輪生会」となる。

(平成20年12月1日)

「医療法人社団芳洋会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ希」19床開始

(平成20年12月1日)

「医療法人五光会」

高齢者専用住宅「アットホーム大森」15床開始

2009年

(平成21年2月27日)

「医療法人長野寿光会」設立 理事長に篠崎文則が就任

(平成21年4月1日)

「医療法人長野寿光会」

「長野赤十字上山田診療所」譲渡により「長野寿光会上山田診療所」開始
特定施設「あっとほーむ上山田」100床開始



譲渡時の長野寿光会上山田診療所玄関

・北京オリンピック開催

・裁判員制度による裁判が始まる
・第1回目のゴールデンウィーク

(平成21年5月23日)

「医療法人輪生会」

理事長交代により篠崎仁史が理事長に就任

(平成21年9月1日)

「医療法人関東病院(財団)」

高齢者専用賃貸住宅「アットホーム磯子」廃止

高齢者専用賃貸住宅「アットホームつばさ」30床開始

(平成21年10月16日)

経営交代により「医療法人社団楠仁会」理事長に篠崎文則が就任



経営交代時の鎌倉ヒロ病院正面

(平成21年11月1日)

「医療法人寿光会」

高齢者専用賃貸住宅「アットホーム藤岡」53床開始



あっとほーむ藤岡全景

2010年

(平成22年1月1日)

「医療法人社団芳洋会」

「磯子中央・脳神経外科病院」を移転新築「磯子中央病院」に改称180床開始

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ光」12床開始



新築移転した磯子中央病院全景

・バンクーバー冬季オリンピック開催

・小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還

(平成22年4月1日) 「医療法人長野寿光会」
「長野寿光会上山診療所」19床入院開始
住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ千曲」50床開始

(平成22年6月1日) 「医療法人社団芳洋会」と「医療法人社団楠仁会」が法人合併により「医療法人社団芳洋会」となる。

(平成22年7月1日) 「医療法人沖縄寿光会」
住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ きむたかの丘」100室開始



あっとほーむ きむたかの丘全景

(平成22年8月1日) 「医療法人社団芳洋会」理事長交代により篠崎仁史が理事長に就任

(平成22年10月1日) 「医療法人輪生会」を「医療法人北光会」に改称
「朝里病院」「朝里整形外科内科病院」「朝里整形外科おたるクリニック」を廃止して、「朝里中央病院」155床を新築して開設



朝里中央病院全景

(平成22年10月31日) 「医療法人五光会」
高齢者専用住宅「アットホーム大森」廃止

(平成22年12月1日) 「医療法人五光会」
住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ舟場」39床開始



あっとほーむ舟場全景

2011年

(平成23年1月31日)

「医療法人社団芳洋会」

「横浜寿光会クリニック」廃所

(平成23年3月1日)

「医療法人社団芳洋会」

「横浜いずみ台病院」増築160床に増床

(平成23年3月24日)

「医療法人関東病院(財団)」

高齢者専用賃貸住宅「アットホームつばさ」廃止

高齢者専用賃貸住宅「アットホーム広地」28床開始

(平成23年3月11日)

「医療法人社団芳洋会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ鎌倉」20床開始



あっとほーむ鎌倉全景

(平成23年3月1日)

「医療法人北光会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ新光」59床開始



あっとほーむ新光全景

(平成23年4月1日)

「医療法人長野寿光会」

「長野寿光会上山田診療所」を廃止し「長野寿光会上山田病院」22床開始

(平成23年4月1日)

「医療法人寿光会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ東郷」93床開始



あっとほーむ東郷

- ・東日本大震災発生
- ・2011FIFA女子ワールドカップ日本優勝

(平成23年9月28日)

「医療法人社団芳洋会」を「医療法人光陽会」に改称

2012年

(平成24年4月1日)

「医療法人長野寿光会」

「長野寿光会上山田病院」22床廃止し新病棟竣工240床開始



長野寿光会上山田病院病棟全景

- ・東京スカイツリー開業
- ・ロンドンオリンピック開催

2013年

(平成25年6月1日)

「医療法人五光会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ笹谷Ⅱ」60床開始



笹谷Ⅱ玄関

- ・富士山が世界遺産に登録される
- ・長嶋茂雄と松井秀喜が国民栄誉賞受賞

(平成25年10月1日) 「医療法人長野寿光会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ戸倉上山田温泉」150床開始



あっとほーむ戸倉上山田温泉全景

(平成25年11月1日)

「医療法人関東病院(財団)」

「関東病院」87床を磯子区森1丁目16番26号に移転新築199床開始



関東病院全景

2014年

(平成26年3月28日)

「医療法人寿光会」理事長交代により篠崎仁史が理事長に就任
 「医療法人沖縄寿光会」理事長交代により篠崎仁史が理事長に就任
 「医療法人関東病院（財団）」理事長交代により篠崎仁史が理事長に就任
 「医療法人五光会」理事長交代により篠崎仁史が理事長に就任
 「医療法人長野寿光会」理事長交代により村瀬かおりが理事長に就任
 「有限会社ハートネット」取締役交代により村瀬貴彦が取締役に就任

- ・ソチ冬季オリンピック開催
- ・消費税が5%から8%に増税

(平成26年4月1日)

「医療法人光陽会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ岡津」82床開始



あっとほーむ岡津全景

(平成26年6月1日)

「医療法人寿光会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ三好」45床開始



あっとほーむ三好夜景

2015年

(平成27年4月1日)

「医療法人北光会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ朝里中央」108床開始



あっとほーむ朝里中央全景

- ・北陸新幹線金沢まで開業
- ・マイナンバー制度がスタート

(平成27年7月1日)

「医療法人光陽会」

住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ鎌倉山」70床開始



あっとほーむ鎌倉山全景

2016年

(平成28年12月)

「医療法人沖縄寿光会」

「与勝病院」新築竣工

